



TRADERS HOLDINGS CO., LTD.

BUSINESS REPORT

第12期 報告書

平成22年4月1日～平成23年3月31日

トレイダーズホールディングス 株式会社

株主メモ

事業年度 4月1日～翌年3月31日
 期末配当金受領株主確定日 3月31日
 中間配当金受領株主確定日 9月30日
 定時株主総会 毎年6月
 株主名簿管理人 三菱UFJ信託銀行株式会社
 特別口座の口座管理機関 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
 〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号
 TEL 0120-232-711 (通話料無料)
 上場取引所 JASDAQ市場
 公告の方法 電子公告
 公告掲載URL <http://www.tradershd.com/>
 (ただし、電子公告によることができない事故、その他のやむを得ない事由が生じた時には、日本経済新聞に公告いたします。)

(ご注意) 1.株主様の住所変更等その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
 2.特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にでもお取次ぎいたします。
 3.未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

詳しくは、当社ホームページをご覧ください。

<http://www.tradershd.com/stock/info.html>

【株式に関するお手続きについて】

特別口座に記録された株式

お手続き、ご照会等の内容	お問合せ先	
○特別口座から一般口座への振替請求 ○単元未満株式の買取(買増)請求 ○住所・氏名等のご変更 ○特別口座の残高照会 ○配当金の受領方法の指定(※)	特別口座の 口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 TEL 0120-232-711 (通話料無料)
○郵送物等の発送と返戻に関する ご照会 ○支払期間経過後の配当金に関する ご照会 ○株式事務に関する一般的なお問合せ	株主名簿 管理人	【手続き書類のご請求方法】 ・音声自動応答電話によるご請求 0120-244-479 (通話料無料) ・インターネットによるダウンロード http://www.tr.mufj.jp/daikou/

(※) 特別口座に記録された株式をご所有の株主様は配当金の受領方法として株式数比例配分方式は
お選びいただけません。

証券会社等の口座に記録された株式

お手続き、ご照会等の内容	お問合せ先	
○郵送物等の発送と返戻に関する ご照会 ○支払期間経過後の配当金に関する ご照会 ○株式事務に関する一般的なお問合せ	株主名簿 管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 TEL 0120-232-711 (通話料無料)
○上記以外のお手続き、ご照会等	口座を開設されている証券会社等にお問合せください。	

トレイダーズホールディングス 株式会社

〒106-6034
 東京都港区六本木1-6-1 泉ガーデンタワー34階
 TEL.03-5114-0344 (代表)
<http://www.tradershd.com/>

ごあいさつ

平成23年3月11日に発生いたしました東北地方太平洋沖地震におきまして、被災された皆様に対し、心よりお見舞いを申し上げます。

役員一同、一日も早いご回復をお祈り申し上げます。

当社グループは、平成11年11月の設立以来、外国為替証拠金取引並びに日経225先物・オプション取引を主軸に事業を展開し、顧客利便性が高い最先端のインターネット取引システムやトレーディングをサポートする付加価値のあるサービス提供を通して、同事業分野のリーディングカンパニーとなることを目指してまいりました。しかしながら、近年の経営成績は、参入企業の増加による企業間競争の激化、昨今の経済情勢の悪化と金融不安の影響による個人投資家の投資意欲減退、あるいは新たな規制の導入など経営環境の変化に対する施策が功を奏さず厳しい結果が続いております。このような状況の中で、当社グループは、創業からの原点に立ち帰り、業界の先駆者として蓄積したノウハウに基づく商品ラインナップ・サービスを提供し、経営資源を最大限に活かした営業戦略を用いることで、他社との差別化を図り、当社グループ全体の収益モデルの多様化を図ってまいります。

今後の事業環境も予断を許しません、全グループ会社役員一丸となって、努力を積み重ねてまいりる所存ですので、株主の皆様には引き続きのご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

トレイダーズホールディングス株式会社
代表取締役社長

金丸 勲

トレーダーズグループの取り組み

■ 商品性の強化

当社グループでは、事業の主軸となる外国為替取引事業および証券取引事業において、参入企業の増加による競争激化や新たな規制の導入など市場環境の変化に順応すべく、投資家のニーズに応じた新しい機能拡充など魅力的な取引環境を提供し続けることで、商品性の強化を図っております。

外国為替取引事業では、相対の外国為替証拠金取引事業の営業基盤増強、取引量拡大を最短期間で実現することを目的として、平成22年7月に株式会社EMCOM証券(平成22年7月20日付で「株式会社EMCOM CAPITAL」に商号変更)の外国為替証拠金取引事業(サービス名「みんなのFX」)を、トレーダーズ証券株式会社が包括的に継承いたしました。「みんなのFX」の業績は、平成22年8月に相対の外国為替証拠金取引のレバレッジ引き下げ(最大50倍)以降も堅調に推移しておりますが、平成23年8月より相対外国為替証拠金取引のレバレッジが最大25倍まで引き下げられることを踏まえて、システムベンダーとの連携のもと、ユーザーニーズを捉えた機動的かつスピーディな機能拡充とサービス追加を実施するとともに、同サービスの効率的な運用、安定的な収益の確保に取り組むことで、当社グループの収益の柱として持続的かつ安定的な成長を促進するための事業規模の拡大に重点的に取り組んでまいります。

また、証券取引事業では、順調に成長を遂げている「みんなのFX」において培った相対の外国為替証拠金取引におけるノウハウを、証券取引事業における取引所取引に活かすべく、商品性の見直し、リスク管理面の強化に取り組んでまいります。

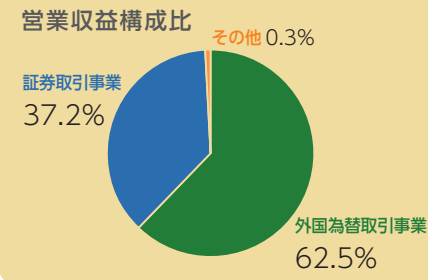
■ 資金調達力の強化

当社グループが営む、外国為替取引事業および証券取引事業においては、顧客、金融商品取引所及びカウンター・パーティーとの間で取引の売買代金又は証拠金等の受け払い、信託銀行への顧客資産の分別信託金の預託、金融商品取引所への清算預託金の預託等、日々多額の資金移動を行っておりますが、東北地方太平洋沖地震後の株式相場の急落時のように、日経225先物・オプション取引にかかる顧客の決済損に関し、預り証拠金等を超える多額の立替金が発生した場合、あるいは入出金のタイミングのずれにより一時的に多額の資金立替負担が生じた場合など、資金繰りが逼迫する可能性があります。そこで、当社グループは、市場リスクの圧縮を図り、厳格に資金繰り管理を行う一方で、金融機関からの借入、社債の発行、エクイティ・ファイナンスあるいはカウンター・パーティーとの所要差入証拠金額の交渉などにより、安定的な資金調達のために調達手段の多様化を図ってまいります。

■ 低コスト体制の徹底

企業間競争の激化が進む中で、低コスト体制の徹底は極めて重要な課題と認識しております。当社グループは引き続きコスト管理に注力し、低コスト体制の強化に取り組んでまいります。

平成23年3月期の総括



当連結会計年度の営業収益は、受入手数料1,616,659千円、トレーディング損益2,521,715千円となり、営業収益合計で4,275,352千円となりました。一方、営業費用は、証券取引事業における金融商品仲介業者を経由した取引の減少などに伴い支払手数料が減少したのに対して、平成22年7月にEMCOM証券から外国為替証拠金取引事業および有価証券関連事業を承継したことにより、器具備品費および人件費が増加したこと、平成21年10月に株式会社EMCOM TRADEを完全子会社化したことに伴うのれん償却額を計上したことなどにより、販売費及び一般管理費は5,152,512千円となりました。

また、特別損益におきましては、貸倒引当金戻入額および金融商品取引責任準備金戻入額を計上したことなどにより特別利益95,210千円を計上したのに対して、トレーダーズ証券が営む証券対面取引営業のうち大阪支店および東京営業所の顧客を対象とした事業を第三者に譲渡したことに伴う事業整理損を計上したことなどに加えて、平成23年3月11日に発生した東北地方太平洋沖地震後の株式相場の急落時に、日経225先物・オプション取引にかかる顧客の決済損に関し発生した立替金のうち、回収不能あるいは早期での回収が困難と見なされる債権について貸倒引当金繰入額を計上したこと、本店移転決定に伴い減損損失を計上したこと、証券取引事業における海外先物指数取引サービス「GIT(Global Index Trade)」の取扱を平成23年3月31日付で終了したことに伴い減損損失を計上したことなどにより、特別損失1,100,775千円を計上いたしました。

以上の結果、当連結会計年度における損益は、営業損失942,192千円、経常損失995,820千円、当期純損失2,005,595千円となりました。

当連結会計年度の営業収益は、受入手数料1,616,659千円、トレーディング損益2,521,715千円となり、営業収益合計で4,275,352千円となりました。一方、営業費用は、証券取引事業における金融商品仲介業者を経由した取引の減少などに伴い支払

外国為替取引事業

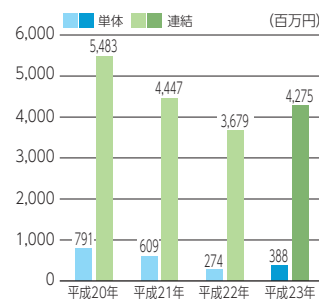
外国為替取引事業におきましては、平成22年7月にEMCOM証券から外国為替証拠金取引事業(サービス名「みんなのFX」)を承継したことに伴い、相対の外国為替証拠金取引における営業収益が大幅に増加し、当連結会計年度における営業収益は2,673,386千円(うち受入手数料129,025千円、トレーディング損益2,521,715千円)となりました。また、貢献利益(営業収益から変動費用および直接固定費を差し引いたもの)は、上記に伴い器具備品費、人件費も大幅に増加したこと、他のサービスの業績が低調に推移したことなどに加えて、株式会社EMCOM TRADEを完全子会社化したことに伴うのれん償却額143,105千円を計上したことなどにより541,625千円となりました。なお、当連結会計年度末における顧客口座数、預り資産は、EMCOM証券から外国為替証拠金取引事業を承継したことに伴い大きく増加し、顧客口座数は103,925口座となり、預り資産は11,514,399千円となりました。

証券取引事業

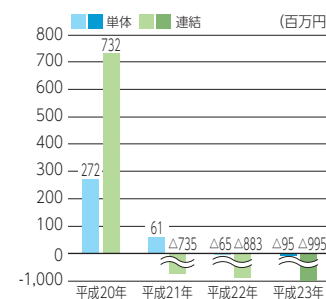
証券取引事業におきましては、同業他社との競争が激化したことや、リスク管理の観点から日経225先物・オプション、日経225mini取引における代用有価証券の取扱い終了、取引制限枚数の引き下げの影響などのマイナス要因を受けて業績は低調に推移し、営業収益は1,589,816千円(うち受入手数料1,479,101千円)、貢献利益は659,051千円となりました。なお、当連結会計年度末における顧客口座数は30,921口座、預り資産は14,675,419千円となりました。

決算ハイライト

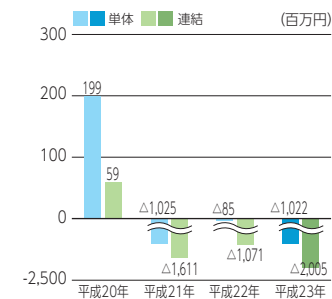
■ 営業収益



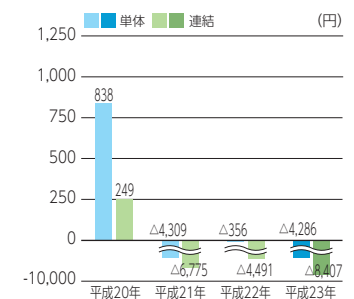
■ 経常利益



■ 当期純利益



■ 1株当たり当期純利益



連結財務諸表

■ 連結貸借対照表(要旨)

(単位:千円)

科目	期別	
	当期 平成23年3月31日現在	前期 平成22年3月31日現在
(資産の部)		
流動資産	15,445,706	23,838,906
現金及び預金	511,891	2,134,643
預託金	11,336,000	7,452,000
トレーディング商品	-	15,967
信用取引資産	297,809	4,836,503
短期差入保証金	2,945,496	9,143,902
その他の他	380,529	285,216
貸倒引当金	△ 26,020	△ 29,326
固定資産	880,261	1,108,252
有形固定資産	183,353	366,202
無形固定資産	269,982	359,409
投資その他の資産	426,926	382,640
投資有価証券	179,943	194,750
長期立替	1,121,686	164,592
その他の他	251,560	415,099
貸倒引当金	△ 1,126,264	△ 391,801
資産合計	16,325,968	24,947,158
(負債の部)		
流動負債	14,949,328	21,302,612
信用取引負債	296,153	4,735,163
預り金	1,507,088	4,724,603
トレーディング商品	22,537	-
受入保証金	11,792,174	9,467,720
短期借入金	-	1,200,000
短期借入金	754,437	751,600
一年内リース債務	124,315	125,166
未払法人税等	11,443	7,655
事業整理損失引当金	8,000	24,977
その他の他	433,178	265,724
固定負債	380,271	604,961
長期借入金	226,000	318,400
リース債務	131,091	255,834
退職給付引当金	15,001	12,875
その他の他	8,178	17,852
特別法上の準備金	63,318	96,055
金融商品取引責任準備金	63,318	96,055
負債合計	15,392,919	22,003,629
(純資産の部)		
株主資本	920,219	2,925,814
その他の包括利益累計額	4,042	4,944
新株予約権	8,786	12,770
純資産合計	933,048	2,943,529
負債・純資産合計	16,325,968	24,947,158

注)記載金額は、千円未満を切り捨てて表示しております。

■ 連結損益計算書(要旨)

(単位:千円)

科目	期別	
	当期 平成22年4月1日から 平成23年3月31日まで	前期 平成21年4月1日から 平成22年3月31日まで
営業収益	4,275,352	3,679,684
受入手数料	1,616,659	2,834,184
トレーディング損益	2,521,715	559,510
金融収益	44,632	136,200
その他の他	92,345	149,788
金融費用	65,032	129,262
純営業収益	4,210,319	3,550,422
販売費及び一般管理費	5,152,512	4,392,784
営業損失	△ 942,192	△ 842,362
営業外収益	1,693	6,163
営業外費用	55,320	47,687
経常損失	△ 995,820	△ 883,886
特別利益	95,210	8,365
貸倒引当金戻入益	57,755	8,365
金融商品取引責任準備金戻入額	32,736	-
その他の他	4,718	-
特別損失	1,100,775	195,283
固定資産除却損	-	55,796
貸倒引当金繰入額	927,970	-
解約違約金	-	18,388
減損損失	110,904	50,083
事業整理損失	43,182	-
事業整理損失引当金繰入額	8,000	-
本社移転費用	-	30,200
その他の他	10,718	40,815
税金等調整前当期純損失	△ 2,001,385	△ 1,070,804
法人税、住民税及び事業税	4,210	571
少数株主損益調整前当期純損失	△ 2,005,595	-
当期純損失	△ 2,005,595	△ 1,071,376

注)記載金額は、千円未満を切り捨てて表示しております。

■ 連結株主資本等変動計算書

当連結会計年度(平成22年4月1日から平成23年3月31日まで)

(単位:千円)

	株主資本				その他の包括利益累計額			新株予約権	純資産合計	
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	その他有価証券評価差額金	為替換算調整勘定			その他の包括利益累計額合計
平成22年3月31日残高	2,837,565	2,104,663	△ 2,013,266	△ 3,148	2,925,814	4,944	-	4,944	12,770	2,943,529
連結会計年度中の変動額										
当期純損失	-	-	△ 2,005,595	-	△ 2,005,595	-	-	-	-	△ 2,005,595
株主資本以外の項目の連結会計年度中の変動額(純額)	-	-	-	-	-	△ 1,228	326	△ 901	△ 3,983	△ 4,885
連結会計年度中の変動額合計	-	-	△ 2,005,595	-	△ 2,005,595	△ 1,228	326	△ 901	△ 3,983	△ 2,010,480
平成23年3月31日残高	2,837,565	2,104,663	△ 4,018,861	△ 3,148	920,219	3,716	326	4,042	8,786	933,048

注)1.記載金額は、千円未満を切り捨てて表示しております。 2.新株予約権の減少については、権利失効に伴う消滅により減少したものであります。

■ 連結キャッシュ・フロー計算書(要旨)

(単位:千円)

科目	期別	
	当期 平成22年4月1日から 平成23年3月31日まで	前期 平成21年4月1日から 平成22年3月31日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	△ 55,997	△ 2,270,003
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 151,843	△ 507,766
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 1,415,245	1,439,894
現金及び現金同等物に係る換算差額	334	△ 737
現金及び現金同等物の増減額	△ 1,622,752	△ 1,338,612
現金及び現金同等物の期首残高	2,134,643	3,473,256
現金及び現金同等物の期末残高	511,891	2,134,643

注)記載金額は、千円未満を切り捨てて表示しております。

会社概要 (平成23年3月31日現在)

会社名 / トレーダーズホールディングス株式会社
 英訳名 / TRADERS HOLDINGS CO., LTD.
 所在地 / 〒106-6034 東京都港区六本木1-6-1 泉ガーデンタワー34階
 設立年月日 / 平成11年11月5日
 資本金 / 2,837,565千円
 代表者名 / 代表取締役社長 金丸 勲
 従業員数 / 連結109名 単体12名
 主要な取引金融機関 / 三菱東京UFJ銀行 三菱UFJ信託銀行 三井住友銀行 リソナ銀行 みずほ銀行
 主な子会社 / トレーダーズ証券株式会社
 トレーダーズフィナンシャル株式会社
 トレーダーズ・プリンシパル・ファイナンス株式会社

役員構成 (平成23年6月28日現在)

取締役 取締役会長 金丸 貴行
 代表取締役社長 金丸 勲
 取締役 橋本 清志
 取締役 中川 明
 取締役 新妻 正幸
 監査役 常勤監査役 土屋 修
 監査役(非常勤) 大網 英道 (公認会計士)
 監査役(非常勤) 渡邊 剛 (弁護士)

株式の状況 (平成23年3月31日現在)

発行可能株式総数 803,400株
 発行済株式の総数 238,704株
 株主数 7,522名

大株主

株主名	当社への出資状況	
	持株数	持株比率
グロードキャピタル株式会社	63,000 株	26.39 %
金丸 貴行	20,286	8.50
金丸 多賀	11,523	4.83
株式会社ザイナス	9,673	4.05
ロンバー・オディエ・ダリエ・ハンチ・アンド・シー	4,950	2.07
中川 明	3,200	1.34
新妻 正幸	2,976	1.25
井上 正子	2,250	0.94
金丸 勲	2,140	0.90
橋本 清志	2,000	0.84

■ トレーダーズホールディングス株式会社 (TRADERS HOLDINGS CO., LTD.)

トレーダーズグループは、トレーダーズホールディングスを持株会社とするホールディングス体制によって資本戦略(経営戦略)と営業戦略の遂行を明確に分離し、効率性の追求と迅速性のある経営を目指しています。

当社グループを詳しくお知りになりたい方は、当社および各会社のホームページをご覧ください。

当社ホームページ

<http://www.tradershd.com/>



■ トレーダーズフィナンシャル株式会社 (TRADERS FINANCIAL CO., LTD.)

設立年月日 平成21年10月16日

資本金 2,000万円

代表者名 代表取締役 及川 佳奈子

主な事業 トレード用ソフトウェアの評価および販売
投資助言葉

<http://tradersfinancial.co.jp/index.php>

システムトレード.com

<http://www.portal-systemtrade.com/>



■ トレーダーズ証券株式会社 (TRADERS SECURITIES CO., LTD.)

設立年月日 平成18年4月12日

資本金 21億9,500万円

代表者名 代表取締役 橋本 清志

主な事業 第一種金融商品取引業
および第二種金融商品取引業

<http://www.traderssec.com/>



■ トレーダーズ・プリンシパル・ファイナンス株式会社 (TRADERS PRINCIPAL FINANCE CO., LTD.)

設立年月日 平成22年5月21日

資本金 1,000万円

代表者名 代表取締役 山本 高太郎

主な事業 投資銀行業

グループ構成と事業領域

